

連盟発足55周年事業『尾瀬観察教室(バスハイク)』

2025年 『尾瀬沼 大江湿原』 運転手2名の大型バスでニッコウキスゲ咲く尾瀬へ。

観察教室

土

7/19

尾瀬は連盟発足の原点、日本の自然保護の原点です。

定員40名。但し群馬県自然保護連盟の会員とその同伴者限定。 緊急連絡先は事務局長080-8747-0548。参加費15,000円。内訳は上信観光バス代、沼山峠シャトルバス代、保険料、資料代です。 出発時間厳守をお願いします。

尾瀬には行きたいけれど、厳しい峠越で躊躇しているあなた。

沼山峠から尾瀬沼迄は標高差40mの緩やかな下り。徒歩1時間強です。

長蔵小屋で昼食(持込不可)。はきなれた靴、雨具、防寒具(前橋より10℃低い)、手袋、持病の薬等ご持参ください。

高崎駅東口(乗車)=前橋駅南口(乗車)=駒形IC=(北関東道)=岩船JCT=(東北道)=上河内SA(休憩)=

5:00発 5:30発 6:45~7:00

西那須野塩原IC=(R400・R121・R352)=道の駅尾瀬松枝岐(休憩)=尾瀬御池P=(シャトルバス20分)=沼山峠

9:00~9:15 標高1,505m9:30 標高1,700m10:00

=(徒歩下り50分)=大江湿原●=(徒歩20分)=尾瀬沼長蔵小屋(昼食・自由時間●)=大江湿原=

11:00 標高1,660m11:30~13:00 13:30

沼山峠=御池P=道の駅たじま(休憩)=西那須野塩原IC=太田強戸PA(休憩)=前橋駅南口=高崎駅東口

14:30 15:00 16:20~16:35 18:30~18:45 19:15着 19:45着



ゼンテイカ(樟庭花) ニッコウキスゲ



ヒメシャクナゲ



ナガバノ

モウセンゴケ



ウラジロヨウラク



トキシウ



ミツガシワ

2025年 『尾瀬沼 大江湿原』 運転手2名の大型バスで草紅葉と紅葉の尾瀬へ。

観察教室

土

10/11

沼山峠から徒歩で1時間強。秋深まる草紅葉と紅葉の大江湿原から尾瀬沼へ。

定員40名。参加費15,000円。但し群馬県自然保護連盟の会員とその同伴者限定。

集合時間・集合場所・行程・昼食・持ち物等は7/19実施の観察教室と同様です。



会員の皆様や関係各位の協力により、前橋市大胡町へ事務所を移転し4年目を迎え、発足以来四半世紀の時を重ねたこととなります。70年代は日本が高度成長の真っ盛りで、干潟の埋め立てや原生林伐採等の大規模開発が同時多発。公害・自然破壊等が社会問題となり、「自然保護」という言葉(考え)が広がりました。特に貴重な湿原や高山植物の宝庫である日光国立公園「尾瀬地区」への車道建設には全国から反対の声があがり、この開発を機に本会も設立されました。1971年8月のことでした。ちなみにこの年7月に総理府の外局として環境庁が創立され、初代長官に大石武一国务大臣が新任されています。

本会の活動は「反対運動」から「自然観察」「保護活動」「調査活動」「環境教育」「エコツアーリズム」等多岐にわたり、それぞれの舞台で多くの会員や関係者が活躍してきました。年4回発行の会報「群馬の自然」も、216号となりました。ここでも歴代編集スタッフや執筆者皆様の協力が継続の支えになっています。

令和に入りコロナや理事高齢化・財政の困窮等、会の運営も厳しい状況に直面しましたが、新たな企画も芽生えています。そのひとつにバス利用による観察教室の再開があります。今年は連盟発足55周年事業として尾瀬行きが企画されています。尾瀬は本会発足の原点であり、私にとっても学生時代のアルバイトや調査活動等で何度も訪れた場所です。最近、遠のいていましたが、今年は会員の皆様と尾瀬沼や長蔵小屋を訪れ、「自然保護」とは何かもう一度考えたいと思っています。

多忙な日常を離れ、群馬県の豊かな自然を楽しみたい方。この機会にぜひご参加ください。会員の皆様や関係機関の方々には、本年も変わらぬご支援とご協力をお願いします。

理事長 谷畑 藤男